陣馬山に一番近い峠の茶屋と大駐車場

陣馬山和田峠「峠の茶屋」



相模の国と武蔵の国の国境地 陣馬山の麓、和田峠「峠の茶屋」。 ここ峠道は甲州街道の裏街道として、古くから栄え、江戸時代には商 人や庶民が利用し、和田峠には関所の分所もありました。

明治時代には、甲州からここ陣馬街道、八王子の御殿峠を経て絹を運んだシルクロードの道として、知られた場所でもあります。

しかし、甲州街道の整備や国鉄中央線の開通工事により、衰退の一途をたどることに…。

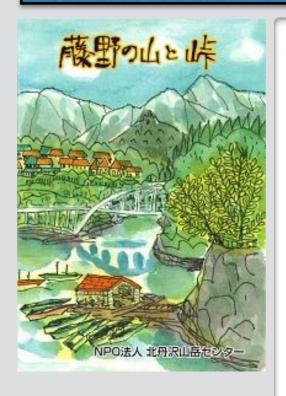
現在では、昔の面影を残している和田峠をはじめとした裏街道は、 地元住民にも利用され、甲州街道が渋滞した際の迂回道としても、活 用されています。 営業時間 9時~17時(土日祝日) 駐車場約80台

普通自動車800円(年末年始1000円)バス1500円、バイク 500円 ※映像撮影のロケ地やイベント会場としても、貸切レンタル可能。

所在地/連絡先 相模原市緑区左野川和田地区 (郵便物の配達はありません) TEL 042-687-2882 峠の茶屋管理事務所 NPO北丹沢山岳センター 〒252-0184 神奈川県相模原市緑区小渕1545-1 TEL 042-687-4011/ FAX 042-687-3980 MAIL

kitatanzawa@kib.biglobe.ne.jp





不破哲三さんと北丹沢を語る 605円 北丹沢ガイドブック 1500円 藤野の山と峠 815円 北相模の歳時記 700円 ふじのの峠 200円 藤野15名山 100円 北丹沢讃歌〜我心の山 925円 蛭ヶ岳山荘管理人木全写真集 ※近日出版予定 「神ノ川ノート」 山バッチ・蛭ヶ岳(2種あり)500円 神の川ヒュッテ500円、生藤山400円 陣馬山400円、和田峠400円

【NPO北丹沢山岳センター出版物】(税込)

和田峠の埋もれた史跡

■歴史■

陣馬山和田峠には津田文吾知事の碑がある。 昭和35年前後の和田峠林道切り下げにより、 八王子への車の往来が便利となった。 ここに和田峠には、

大乗妙典経塔の下に社経(小石・大乗般若教の270文字)が埋められている。 かつて、ここには6頭建ての野次で武蔵野まで農耕産業、 江戸期は果物(山梨ブドウ、長野リンゴ)の輸送路であった。 和田峠に関所の分所があり、以前に馬士軍団により浄財をとっていた。

■甲州裏街道■

八王子宿、追分で甲州街道より分かれ、 北西恩方道より和田に至る峠の頂上が相武の境。 峠を下り、和田集落を抜けると倉子峠、 この峠が佐野川村東西で西は岩村と言われていた。 此処を下ると、下岩で、この集落は宿場状になっている。 下岩西の小川が甲斐との境である。この間の距離は2里半(10km)とされる。

■物語■

和田峠に七不思議の伝説が存在する。いつの頃か定かではないが、 この道の通行人が名付けたらしい。大乗妙典石経塔、鍋こわしの滝、弘法の筆跡、 鳥帽子岩、弘法の水、義経の足跡、1字1石塔の7つ。 今は新しく林道ができ、埋没している。

■相模風土記稿■

村里郡津久井県之四毛利庄左野川には、1条の経路高低盤廻して、 往来をなせり、甲斐国より武蔵国への間道あり。 永禄12年(1568年)より天正10年(1582年)間で、 14年間武田の所領であった。

陣馬山和田峠の「大乗妙典石経塔」は交通の守り神として、 庶民の生活道及び交通物資の輸送道として栄えた、 裏街道を利用する人々を見守ってきました。 いつの時代か寄進されたものです。 その後の街道整備の際、地中に埋められました。 長年、忘れ去られていましたが、 平成24年に「大乗妙典石経塔」は、

和田峠の杉本憲昭や佐野川みちくさの会により、再起されました。



【アクセス情報】

和田峠より陣馬山山頂まで30分、和田峠より西の生藤山まで60分 和田峠より和田バス停まで30分、和田峠より高尾山山頂まで400分 藤野駅より和田バス停60分